

Princeton

USB2.0 ビデオ・オーディオキャプチャユニット

# デジ造 PCA-AVCU

Digital Creation Gear Digizo

## 活用ガイド

### Arcsoft ShowBiz DVD2 編

本書では、本製品付属の動画編集ソフト『Arcsoft ShowBiz DVD2』を使用した、動画のキャプチャからソフトの簡単な使い方を紹介します。

### 本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってドライバのインストールおよびソフトウェアのインストールを行ってください。

#### ShowBiz DVD2に関するお問合せ

本製品に付属しております「Arcsoft ShowBiz DVD2」に関するお問合せは、下記までご連絡ください。

ソフトウェアのタイトル : ShowBiz DVD2

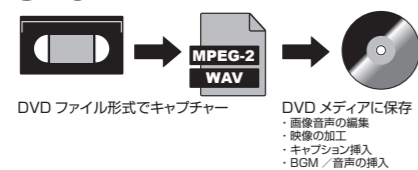
●電話によるお問い合わせ : 0570-060655 (ナビダイヤル)  
受付時間 : 月～金曜日 (除く祝日) 10:00～12:00、13:00～18:00

●Eメールによるお問い合わせ : support@arcsoft.jp

## ShowBiz DVD2

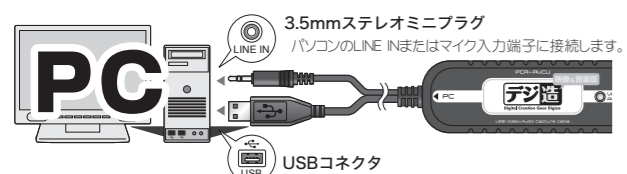
『ShowBiz DVD2』は、デジ造映像本体を経由して再生されたVHS/8mmビデオなどをパソコンにキャプチャーすることができます。キャプチャーした映像は編集などをしてDVDに保存することができます。

### ShowBiz DVD2

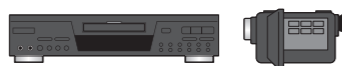


## 動画のキャプチャ

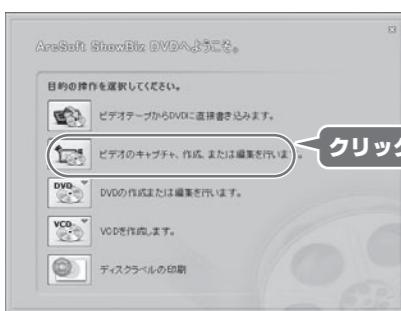
パソコンの起動後、本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに接続して、3.5mmステレオミニプラグをパソコンのLINE INもしくはマイク端子に接続します。



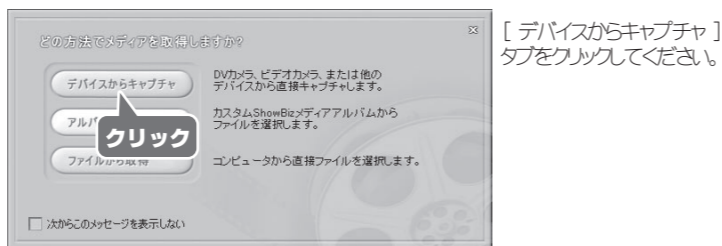
映像機器を本製品に接続します。



『Arcsoft ShowBiz DVD2』を起動します。



「ビデオのキャプチャ、制作または編集を行います」をクリック



「デバイスからキャプチャ」タブをクリックしてください

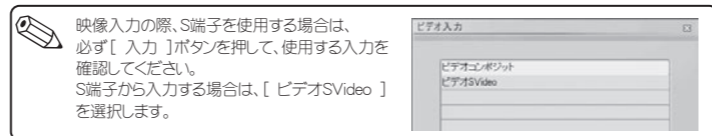


『Arcsoft ShowBiz DVD2』が起動します。



ご利用のパソコンに、キャプチャボードなどが搭載されている場合は、複数の入力デバイスが表示されます。

「ビデオデバイス」を「USB 2861 Device」に、「オーディオデバイス」をパソコンへの3.5mmステレオミニプラグの接続先(「ライン入力」もしくは「マイク」)に設定してください。



映像入力の際、S端子を使用する場合は、必ず「入力」ボタンを押して、使用する入力を確認してください。S端子から入力する場合は、「ビデオSVideo」を選択します。

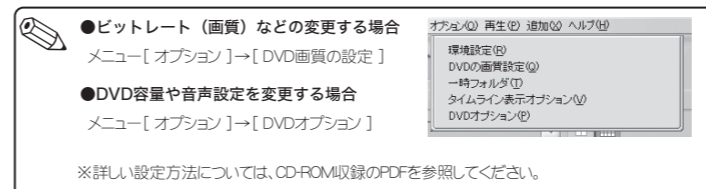


キャプチャした動画の配布方法や保存形態に応じて、キャプチャ形式を選択してください。

「フレームサイズ」では、キャプチャする映像の解像度選択します。例えば、キャプチャした動画をDVDに保存する場合は、「720x480」を選択します。



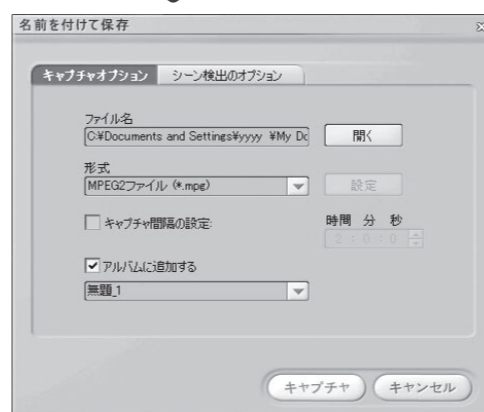
「入力」をクリックして3.5mmステレオミニプラグのパソコンの接続先を選択します。マイク端子に接続した場合は「マイク」を選択します。



※詳しい設定方法については、CD-ROM収録のPDFを参照してください。



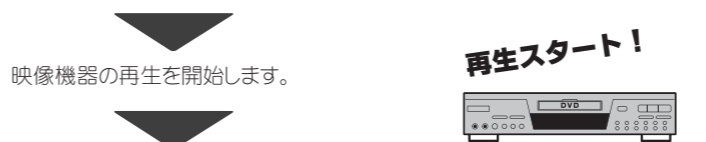
設定が完了したら「録画/録音」をクリックしてください。



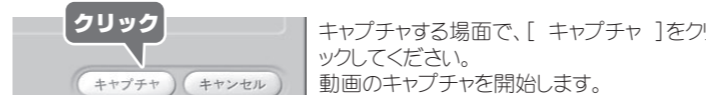
動画のキャプチャはデータサイズが大きくなります。保存先のハードディスクの空き容量には十分ご注意ください。キャプチャデータの保存先は、ソフトウェアがインストールされているドライブとは物理的に異なる、内蔵ハードディスクに指定されることをお勧めいたします。

「ファイル名」では、キャプチャする映像の保存場所とファイル名を設定します。「形式」では、キャプチャする映像のファイル形式を設定します。例えば、キャプチャした動画をDVDに保存する場合は、「MPEG2ファイル」を選択します。

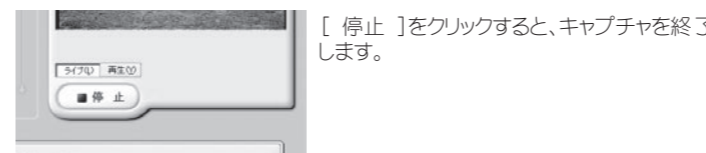
上記以外の設定箇所については、CD-ROM収録のPDFを参照してください。



映像機器の再生を開始します。



キャプチャする場で、「キャプチャ」をクリックしてください。動画のキャプチャを開始します。



「停止」をクリックすると、キャプチャを終了します。



キャプチャした映像のアイコンが、画面に追加されます。

## キャプチャした映像を編集する

詳しい編集方法については、CD-ROM収録のPDFを参照してください。

キャプチャが完了したら、次はキャプチャした映像を編集します。「編集」ボタンをクリックすると、編集画面が表示されます。



### キャスチャした動画を順番に並べる

ソフトウェアのタイムライン上に、キャプチャした動画をドラッグ&ドロップして並べることができます。テキストやエフェクトなどを挿入したり、動画の長さを変更することも可能です。



ドラッグ&ドロップ

キャプチャした動画以外にも、パソコンに保存されているデータを追加することもできます。

編集画面では、2つのレイアウトで動画の編集をすることができます。

#### ■ストーリーボード画面

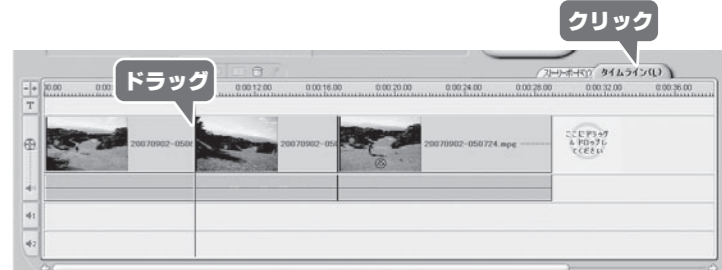
動画を紙芝居の様に並べることで、簡単にストーリーを作成することができます。この画面を表示するには、「ストーリーボード」タブをクリックします。



クリック

#### ■タイムライン画面

動画や音楽、トランジションやエフェクトなど、秒単位の細かい調整を行う画面です。この画面を表示するには、「タイムライン」タブをクリックします。



クリック

ドラッグ



ドラッグ

タイムラインのバーをドラッグすることで、映像をトリミングすることができます。

裏面に進む



## キャプチャした映像を編集する（続き）

### 音声を編集する

キャプチャした動画の音量などを調整することが可能です。



### パソコンの音声や静止画を入れる

画面上部のドロップダウンリストをクリックして、挿入するコンテンツを選びます。例えば、「オーディオのサンプル」を選択すると、オーディオサンプルが表示されます。気に入った音をドラッグ&ドロップすると、BGMとして挿入することができます。



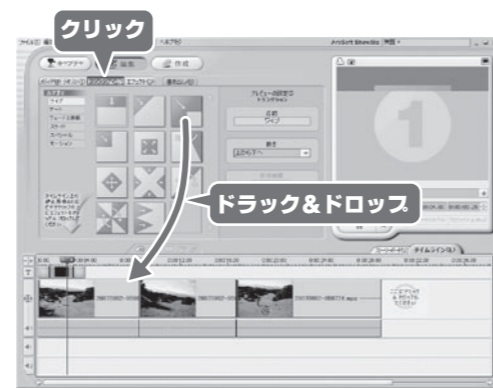
### キャプションやタイトルを入れる（テキスト）

映像の上にキャプションやタイトルを入れることが可能です。様々なテンプレートもあらかじめ用意されています。



### 場面転換の効果を設定する（トランジション）

場面転換などの際に、様々な効果(トランジション)をつけることができます。



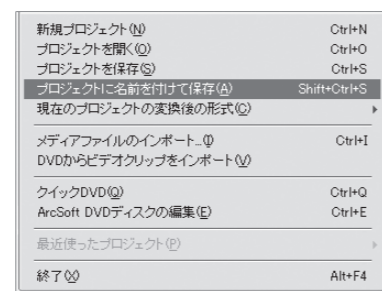
### 映像に効果をつける（エフェクト）

映像に様々な効果(エフェクト)をつけることができます。



### プロジェクトを保存する

編集したデータは、ファイルメニューから保存することができます。編集途中のデータを保存して、あらためて再編集することも可能です。



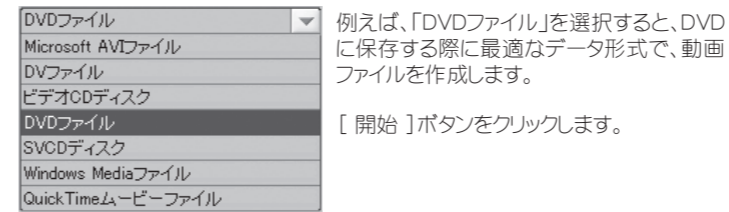
編集したデータは、[書き出し]からビデオファイルを作成したり、そのままDVDに記録することが可能です。

## 映像を書き出す

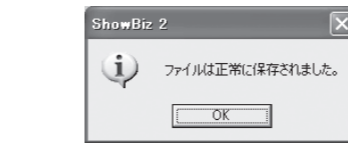
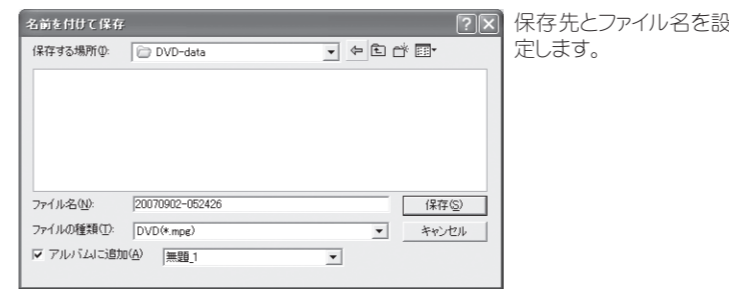
編集が完了した映像を、一つの動画ファイルに書き出すことができます。



ドロップダウンリストをクリックして、用途に応じた書き出し設定を選択してください。



[開始]ボタンをクリックします。



## DVDを作成する

ここでは、編集した動画をDVDに記録するまでの流れを紹介いたします。詳しい設定方法については、CD-ROMに収録されているPDFを参照してください。



設定が完了したら、[ディスクの書き込み]をクリックします。



[次へ]をクリックすると、ディスクの製作の設定画面を表示します。

記録可能なディスクをDVDドライブに挿入して、[開始]をクリックすると、ディスクの作成を開始します。



[完了]をクリックして、ディスクの作成を終了します。[ジュエルケースの作成]を選択すると、DVDのジャケットを作成することができます。

